

介護老人保健施設コーナー

～ 嚥下調整食のご紹介 ～

JCHO 秋田病院附属介護老人保健施設では、昨年9月より、嚥む力や飲み込む力の弱い方のために「キザミ食」よりも安全で美味しい「嚥下調整食」の提供に取り組んでいます。

介護食用のお肉や柔らかい魚を使用し、野菜類は圧力鍋で栄養価を残しながら煮込むことで、歯茎でつぶせる硬さでありながら、元の料理に近い形を実現しました。今後、メニューのバリエーションも増やしていく予定です。

普通食



キザミ食

新たな取り組み！



嚥下調整食

口から食べることの意義

- ◆ 栄養を身体に取り入れ生命を維持すること
- ◆ 活動するためのエネルギーを得ること
- ◆ 味を楽しみ、人との交流を楽しむなど生活の質 (QOL)を保つこと

「病院」も「附属老健」も高齢者の「食べること」への支援に取り組み、

秋田県内の先駆的な施設を目指します！

〒016-0851 秋田県能代市緑町 5-22
独立行政法人地域医療機能推進機構
秋田病院 地域医療連携室

TEL : 0185-52-3271 (代表)
FAX : 0185-54-7892 (代表)



病院長 新年のあいさつ

JCHO 秋田病院 院長 おおつか ひろのり 大塚 博徳

あけましておめでとうございます。今年もよろしく
お願いいたします。

昨年は、新型コロナによる感染で世界中が混乱
した1年でした（ヨーロッパをはじめとした多くの
感染症による死者の発生、緊急事態宣言発令に
伴った不況、東京オリンピックの延期など）。この
コロナ禍から脱出し、平穏な世の中になることは、
全世界中の人々の本年の願いだと思います。

当医療圏においては、コロナ感染者は8月のほ
じめの数名にとどまっておりましたが、昨年末か
ら感染者数の増加があり、報道やホームページで

もご存知の通り、当職員からも感染者が確認されました。地域の皆様や関係者の皆様には、ご不安をおかけし誠に申し訳ありませんでした。早急な調査とその結果より、1週間の入院制限は行いましたが、短期間で通常業務に移行することができております。今後とも、患者様・職員の安全を最優先に感染防止に努めていきます。

目に見えない新型コロナウイルスという悪魔は、肺炎・味覚障害・凝固異常を起こす可能性とともに、感染者のみではなく、その周囲の人たちに恐怖や不安という症状を起こし、差別・誹謗中傷・不要な詮索などの行動を起こさせる悪魔です。この悪魔に立ち向かうには、正しい知識と、日本人がもともと身につけている優しく思いやる心を持ち続けるしかないと思います。そのためにも、当院は正しい情報を公開しながら、行政・医師会・他の医療機関と協力しながら、地域の皆様への新型コロナ感染症予防・治療にあたっていきたいと思います。

今後しばらくの間、病院・老健施設での面会制限が必要な状態が続くと思います。患者様と家族の皆様を会わせてあげたいと思っている我々スタッフの苦渋の選択であることをご理解いただき、ご協力よろしく
お願いいたします。尚、スマートフォンやタブレットによるオンライン面会は可能です。ご要望がある
場合には遠慮なくお申し出ください。



第7回 地域協議会開催される！



JCHO 秋田病院第7回地域協議会は令和2年12月2日（水）18時30分より当院健康管理センター大ホールにて開催されました。今回は任期更新となって初の開催となり、委員長として新たに能代市山本郡医師会 楊 国隆 会長を選出し議事が進行されました。

第1号議案では、令和2年4月に昇任した 大塚 博徳 新院長より病院の運営方針が示され「風通しのいい病院づくり」をモットーとして、年齢・キャリア・部署関係なく何でも言い合える職場づくりを目指し、地域の医療機関、介護施設、行政、そして地域の皆さまとの交流を密にしていきたいと抱負を述べました。

また、当院の新型コロナウイルス感染予防対策の他、口から食べることの大切さを実行していく「摂食嚥下プロジェクト A チーム」の立ち上げについても紹介がありました。その他の議案では、令和元年度の事業状況と令和2年度の事業計画、病棟アンケートやこれまでのトピックスなどが報告されました。

地域協議会は、当院の利用者や関係者の意見を聴き、地域の実情に応じた運営を行うため年3回（協議会1回、分科会2回）開催しており、今回は行政・医療・地域住民・当院職員ら24名中22名が出席して開催いたしました。2月には今年度第2回の分科会を予定しており、引き続き地域包括ケアの要となる病院づくりを目指して、地域に必要とされる病院となるべく職員一同努力して参りたいと思っております。

地域協議会は、当院の利用者や関係者の意見を聴き、地域の実情に応じた運営を行うため年3回（協議会1回、分科会2回）開催しており、今回は行政・医療・地域住民・当院職員ら24名中22名が出席して開催いたしました。2月には今年度第2回の分科会を予定しており、引き続き地域包括ケアの要となる病院づくりを目指して、地域に必要とされる病院となるべく職員一同努力して参りたいと思っております。

健康管理センター紹介

☆「ゆったり健診」について

JCHO 秋田病院 健康管理センターでは、通常7:20~8:00までの受付で健康診断を実施しています。しかし、「朝の時間帯は忙しい！」「子供の送迎が終わってからだと受診できない！」「朝の仕事を終わらせてから受診できないか？」等の受診者のみなさまの声が多く、それに応えて9:30~10:00受付の『ゆったり健診』を実施しております。

朝の時間帯を有効に使えるため、みなさまに好評で、近年受診者が増えてきております。また今まで「ゆったり健診」では対応できなかった胃カメラも毎週火曜日3名のみではありますが、実施することとしました。

今後もみなさまの声に耳を傾けて、さらなる利便性の向上に努めていきたいと思っております。

☆「コロナ対策」について

令和2年4月18日～5月6日にかけて、当院健康管理センターでも健康診断業務がストップしてしまいました。現在は3密を避けるように対策し、マスクの着用や換気など受診者のみなさまの協力も仰ぎながら実施しております。



3密を避けるために座席間隔を開けております

対面とならないように座席位置もいつもとは違います



☆「入院ドック」について

当健康管理センターでは様々な種類の健康診断を実施しております。その一つに入院ドックがございます。入院ドックとなっておりますが、実際に病院に「入院」するのではなく、能代市内の宿泊施設（ルートイン・ホテルミナミ等）へ宿泊していただき、2日間に渡り検査を実施いたします。入院ドック以外の受診者の方とは違う部屋で待機していただき、検査項目に応じて移動していただきます。通常よりもゆっくりとした時間の中で様々な検査項目を実施いたします。



生活習慣病予防健診に主に下記の項目がプラスされます

免疫血清検査・肺機能検査（現在コロナの影響で中止中です）・ブドウ糖負荷試験・腹部超音波検査・大腸内視鏡検査・泌尿器検査（腎・膀胱・前立腺・睾丸）・眼科検査（屈折・眼底）等がプラスされ、2日目の健診終了後にセンター長より結果説明を聞き、終了となります。

1泊2食（昼食×2回）で66,000円（税込）と高額となりますが事業所や健康保険組合の補助（**残念ながら協会けんぽはありません・・・**）を受けられる方はぜひ受診してみてください！